

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.5.0.5

バージョンアップ内容

○ DICOM 画像 Image Orientation 対応

ポリゴン出力時、Image Orientation 情報 (IO 情報) に対応した回転が行われます (図 1)。また、VIF/VOL と VDF ファイルに IO 情報を保存するように対応しました。

○ 等値面ダイアログのサイズ自由化

等値面ダイアログのサイズをマウス操作で変更可能となりました (図 2)。本変更により、より正確な面抽出が可能になります。

○ 計測結果の CSV 出力

MeasureManager で計測した結果を CSV ファイルフォーマットで出力可能になりました。その結果、計測結果をマイクロソフト社の EXCEL 等に読み込めるようになりました (図 3)。

○ 操作マニュアル

上記変更に伴い、各種操作マニュアルを修正しました。

○ その他

Volume Graphics 社の VGStudio の等値面データと比較し、違いが無いことを確認しました。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもお気軽にご相談ください!

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発
- ・3D プリンタ用造形モデル作成
- ・CG/画像処理/WEB etc.

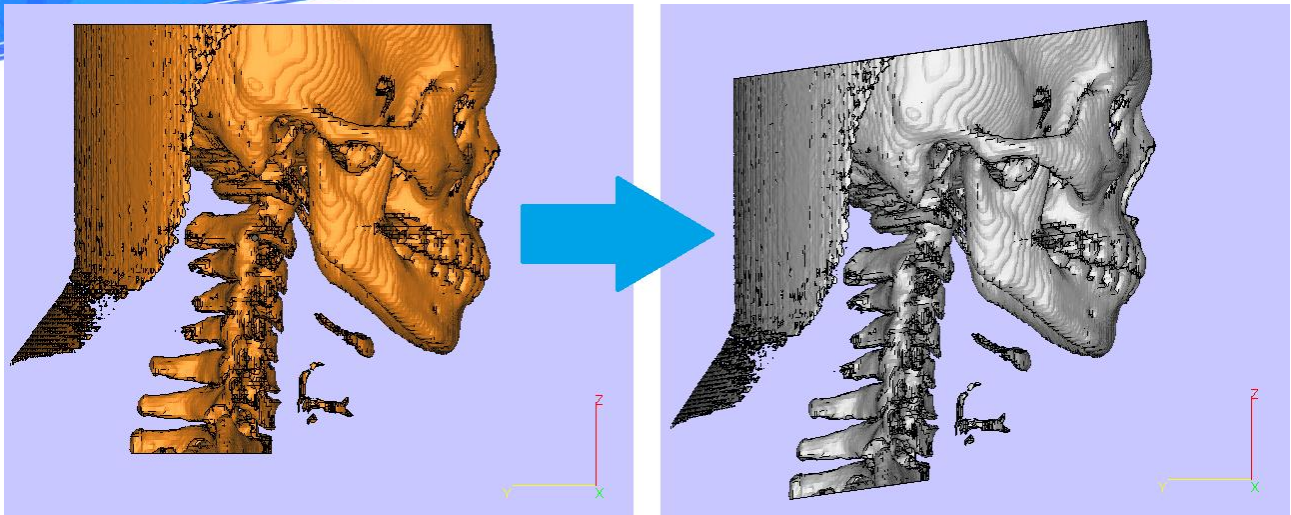


図1 Image Orientation 対応後のポリゴン位置（大きさ、体積は変わりません）

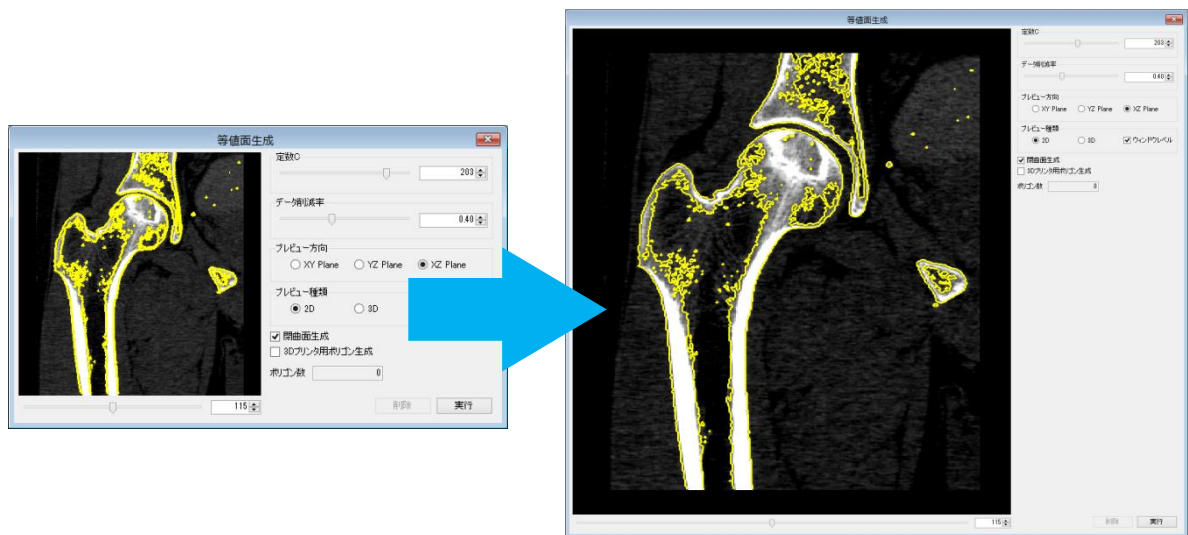


図2 等値面ダイアログのサイズ自由化

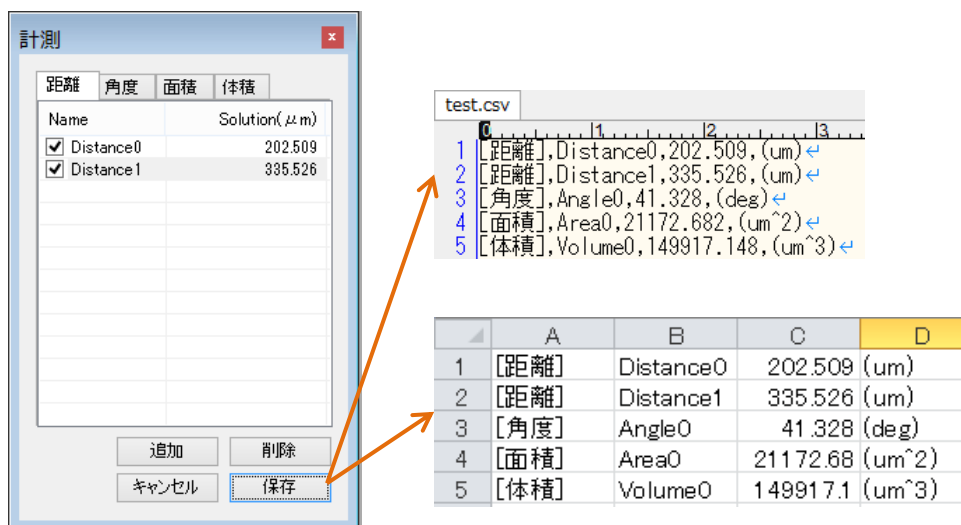


図3 計測結果のCSV出力